

「第7回わくわく関西自費出版フェア」

御礼とご報告

8月25日(火)にジュンク堂書店大阪本店で開催いたしました「第7回わくわく関西自費出版フェア」は、8月31日(月)に無事終了いたしました。同フェア開催につきましては、各方面の皆様にご協力とご支援をいただき厚く御礼を申し上げます。

さて、今年で7年目を迎えました同フェアは、残念ながら奈良県の会員からの出展が間に合わず、2府3県16社の企業と8名の個人参加者でスタートいたしました。なお、奈良県の新しい出版社京阪奈情報教育出版株式会社の代表住田幸一氏が、次年度からの参加を表明されましたので、今後奈良県からの複数の参加出展に希望がもてます。

事前にフェアのことが産経新聞・朝日新聞・京都新聞に紹介され、また会期中で再度産経新聞に大きく紹介されたので、それを見た人たちからの問い合わせが多く、セミナーや講演会には非常に多くの来場者がありました。無料相談ブースへは18件の相談がありました。本の展示については、前回までは出版社ごとに棚を作り展示していましたが、今回はジャンルごとの展示にしました。大きく「小説・エッセイ」「体験記・闘病記」「自分史」「詩歌」「研究・評論」「実用書」「写真・絵本・画集」「投稿誌」に分け展示してみました。来場者にはおおむね好評だったと思いますが、設営や撤収作業の負担が大きくなり、このジャンル分けについては良かったのか悪かったのか、会員間での今後の課題となります。

今回初参加の有限会社大光製本所が展示された巨大なサンプル「A2判上製本」はひときわ目を引き、フェア会場を通り過ぎる人たちも思わず足を止め、その巨大さを体感されていました。



(その巨大さは『1Q84』と比べていただければ一目瞭然！)

セミナーはその大光製本所の代表寺内光浩氏に講演いただきました。「特殊製本」をテーマにした約30分の短い講演内容でしたが予想を超える28名の方がご参加され、椅子が足りず6名の方が最初立ち見となってしまいました。急ぎジュンク堂書店が円椅子を用意しましたので、なんとか着座して講義を聴いてもらえることができました。参加者は講演後に色柄を紙に定着させる実演を体験できたり、帰りには上製本のミニノートのプレゼントが全員にあたりと、なかなか充実したセミナーではなかったかと思います。

8月29日(土)の講演会「自費出版で人生が変わった街頭紙芝居師」も16名の方のご参加があり、盛況となりました。紙芝居の実演もあり、著者の本もたくさん売れたようです。



以上、この度のフェアのご報告を申し上げます。

今後とも、私どもの活動に、どうかご理解とご協力をお願い申し上げます。

関西自費出版の会 事務局：星湖舎（担当：金井一弘）

〒543-0002 大阪市天王寺区上汐3-6-14-303 星湖舎内 TEL. 06-6777-3410 FAX. 06-6772-2392